

職員の新型コロナウイルス感染者の発生について【1報】(5月9日発生分)

令和4年5月9日(月)に、川俣町地域包括支援センター職員1名が新型コロナウイルス感染症に感染していることが確認されましたのでお知らせいたします。

1. 感染者について

当該職員は家族の陽性が判明し、5月3日より濃厚接触者として自宅待機をされており、5月3日にはNEAR検査を行い陰性確認、5月4日頃から症状あり5月9日NEAR検査を行い陽性が判明しました。

2. 当院及び川俣町地域包括支援センターの対応について

県北保健所の指導の下

当該職員は、濃厚接触者として自宅待機をしておりましたので、支援センター利用者及び病院内、事業所内での濃厚接触者はおりません。

3. 診療等については以下のように対応します。

- ・ 外来診療について 外来診療は通常どおり行います。
- ・ 入院診療について 入院診療は通常どおり行います。
- ・ 包括支援センターについて 通常どおり行います。

当院及び川俣町地域包括支援センターをご利用の皆様には大変ご心配をおかけすることになり、お詫び申し上げます。今後も感染防止対策になお一層の努力をしておりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年5月10日

済生会川俣病院 院長 佐久間博史

川俣町地域包括支援センター 所長 宮口正稔